

⑤ 漁業の根拠地

漁港は仲里漁港・儀間漁港・鳥島漁港の3港があるが、それ以外にも船留り場として漁業生産活動の根拠地となっている場所が数カ所ある。それらの位置図が図2である。

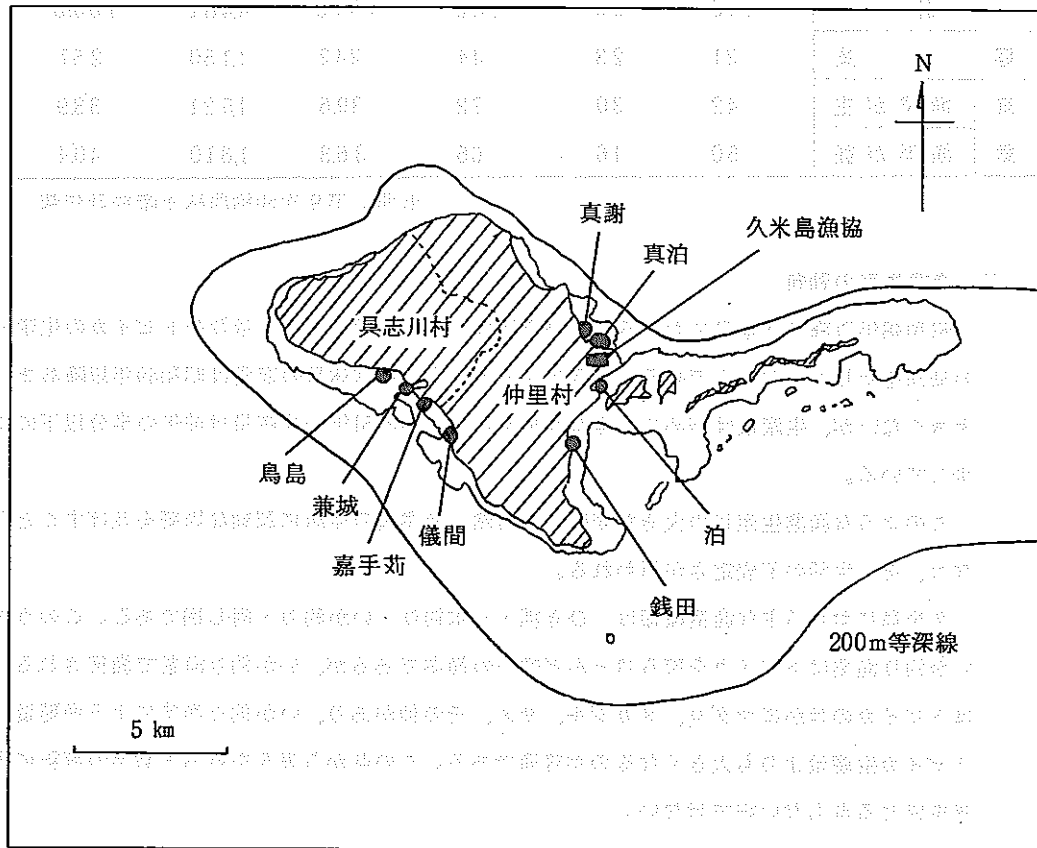


図2 久米島漁業協同組合及び漁船留り場位置図

⑥ 久米島漁業協同組合

仲里村と具志川村の漁業者が加入して久米島漁業協同組合を構成し、正組合員182人、准組合員91人、計273人となっている。組合には組合長のほか10人の職員がいて、信用事業・購売事業・販売事業・自営事業・製氷冷蔵事業などを営んでいる。

自営業としてはクルマエビの養殖を行っており、年間約10トンの生産量である。販売事業としては買取販売と受託販売を行っている。昭和55年4月～56年3月の買取販売の実績を表6に示す。

55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00					
100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150

表6 久米島漁協の買取販売実績

単位：トン、千円  
(55.4.1～56.3.31)

種別	仕入		売上	
	数量	金額	数量	金額
鮮魚類	2.1	3,615	2.1	4,683
貝類	5.4	4,321	5.5	5,075
モズク	46.3	16,808	36.8	17,838
計	53.8	24,744	44.4	27,596

(資料：久米島漁協)

受託販売は昭和55年12月からセリ市場を開設して実施している。セリに参加する人達は、主に地元の鮮魚小売業者で、トビイカ加工業者も参加する。組合の受託手数量は販売金額の7%となっている。組合では、儀間や鳥島などの遠い場所からの漁獲物運搬料を漁協が負担して業者に委託し、漁獲物の一元集荷を強く呼びかけているが、長年にわたって相対売りが

表7 久米島漁協の受託販売実績

単位：キロ、円(55.1.1～55.12.31)

月	日	数量	金額	平均単価
1	26	15,419	11,939,398	774
2	20	7,965	6,953,398	873
3	26	15,367	11,487,647	748
4	26	15,970	10,396,957	651
5	26	16,770	9,583,484	571
6	24	10,391	7,979,056	768
7	27	13,707	9,451,431	690
8	24	13,680	10,251,723	749
9	24	13,190	9,129,084	692
10	23	12,674	7,838,309	618
11	23	13,684	8,815,128	644
12	27	17,094	12,688,262	742
計	296	165,911	116,513,877	702

(資料：久米島漁協)

定着してきただけに、組合への搬入をいやがる漁業者もあって、漁獲物の何割が集荷されているかは漁協でも把握していない。昭和56年の受託販売実績を表7に示した。合計数量165,911kgのうち、15,357kgはトビイカであった。受託販売にはこれ以外に県漁連へ出す島外販売もあり、その55年度実績は54トンであった。